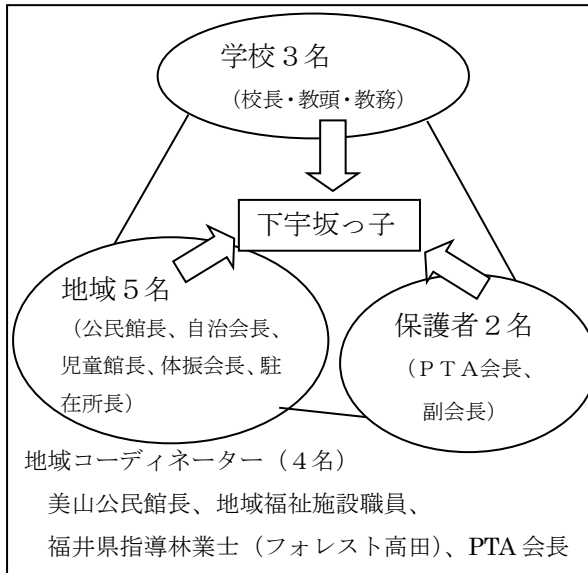


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- ① 開催回数 3回
- ② 開催期日及び協議内容
 - 6/27(木)
 - ・本年度教育活動概要等の説明
 - ・意見交換
 - 10/21(月)～29(木)
 - ・教育ウィーク参観
 - ・意見交換
 - 2/17(月)
 - ・学校評価の分析報告
 - ・今年度の反省と次年度に向けて

(3) 協議会における成果と課題

協議会委員は役職で就任を依頼しているが、年ごとにメンバーの多くが入れ替わることにより、いろいろな視点、角度から忌憚のない意見を述べてもらうことができた。次年度は、学校の活動、園児児童の様子をより理解してもらうために、委員に対して、学校だよりや学校公開日の案内を配付し、決められた協議会の期日だけではなく、通常の授業や行事への参観を促せるよう配慮したい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の自然や人と関わりながら、児童がよさを発見したり課題を見つけてよりよく解決したりする学習を通して、地区を愛し地域に誇りをもつ子を育てる。

(2) 活動の実際

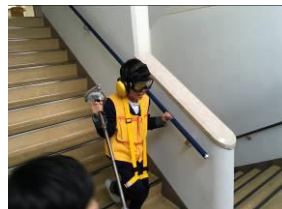
① 「うさかの森」(4学年)

4年生が学校林において、地域コーディネーター(森林関係従事者)の全面的な協力のもと、さまざまな森の学習に取り組んだ。学習を進めていく中で、切り出した木材を利用し、学校やうさかの森で活用できる木製品を考えたいという4年生児童の願いが生まれた。利用価値のあるものは何かを考えたり、作業の一部を児童が担ったりした。学習発表会では、森林の大切さについて調べたことを保護者や3年生児童に向けて発信した。



②「うさかの町」(3学年)

3年生が校区にある施設等の探検を進めていく中で、福祉という視点での学習活動も行った。地域コーディネーター(福祉施設従事者)の協力のもと、高齢者施設の見学を行い、児童は高齢者の身体の様子を体験したいという願いをもった。また、県立盲学校との交流学习で体験したゴールボールを学校でも体験したいという願いももった。学習発表会では、上記の身体の不自由な方々との交流の仕方等を保護者や4年生児童に向けて発信した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・ウォークラリー大会やフラワーロード作業を計画し、親子での参加を呼びかけた。
- ・美山地区文化祭等を計画し、美山地区小中学校に参加を呼びかけた。
- ・PTAや地域の方に見守り隊をお願いし、園児児童の下校時の安全を見守った。
- ・園児児童と保護者が共に参加できるレクリエーションを企画し、親子や保護者間の交流を図った。
- ・森の学習に関して、児童の願いをもとに学習が進められるよう支援した。
- ・福祉学習に関して、児童の願いをもとに学習が進められるよう支援した。

(4) 特に工夫した事項

家庭・地域から応援してもらえる学校を目指し、学校だよりを下宇坂全地区に配付したり、Web学校日誌を一週間に3回程度更新したりして学校の情報を発信した。また、見やすく情報を伝えやすくする狙いで、年間統一したデザインの学校公開日のチラシを配付し、保護者へアピールした。また、保護者や地域の方々を交えて行う活動を継続して行った。



(5) 成果と課題

スクールプランに「家庭・地域から応援してもらえる学校」と掲げ、地域とつながり、地域を愛する態度の育成を目指してきた。学校評価の保護者アンケートでは、「学校への満足度」に関して93%の肯定的な評価を得た。これは、保護者・地域参加型の授業・行事等の継続的な取組、学校の公開、情報の発信等の成果であると考えられる。一方、「地域活動への参加(2回以上参加)」に関して77%に留まっている。児童に地域行事の周知、参加の呼びかけを行い、より地域への興味・関心の高揚を図ることで、学校と地域の連携がより深まり、双方向にとってよりよい成果へと繋がるのが期待できる。